

競技注意事項

1. 規則 2019年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項に準じて行う。
2. 変更・訂正 競技者の変更は一切認めない。プログラム誤記の訂正は8時15分までに記録係へ届け出る。
3. 練習
 - ・補助競技場を使用する。
 - ※補助競技場での投てき練習は禁止する。(ただし、メディシンボールを使つての練習は、係員の指示に従って行うことができる)
 - ・公式練習 走高跳はバーをかけずに1回の助走練習と、男子A 1m60・女子A 1m40の高さで1回の練習を認める。投てき種目については、審判の指示に従い、1回もしくは2回の練習を認める。
4. 招集
 - ・招集時間は トラック種目は競技開始30分前～20分前まで
フィールド種目は競技開始60分前～40分前まで
 - ・招集場所は、100mスタート地点側方のスタンド下に設ける。
 - ・競技者は招集時間内に招集をすませ、競技者係の指示に従う。招集に遅れた場合は棄権とみなし、競技に参加することはできない。
 - ・招集は本人が行う。この時ナンバーカードとスパイクの確認を行う。トラック競技出場者は、招集時に腰ナンバーを受け取り、右腰につける。
 - ・スパイクのピンの長さは、走高跳・ジャベリックスロー12mm以下、その他は9mm以下とする。
5. ナンバーカード
 - ・胸と背に確実にとめる。ただし、跳躍種目は、背または胸につけるだけでもよい。
 - ・白のB5版の大きさの布に、男子は黒字、女子は赤字で記入する。文字の高さは12cm、文字の幅は5cm以上とし、飾り文字は使用しない。
 - ・トラック種目出場者は、招集所で受け取った腰ナンバーを右腰につける。

6. 規格・重量

①ハードル種目の規格

	高さ	ハードル間
A男子	0. 914m	9. 14m
B男子	0. 914m	9. 14m
A女子	0. 762m	8. 00m
B女子	0. 762m	8. 00m

②砲丸の重量

A男子	5. 000kg
B男子	4. 000kg
A女子	4. 000kg
B女子	2. 721kg

③円盤の重量

A B C 共通	男子	1. 500kg
	女子	1. 000kg

7. 計測

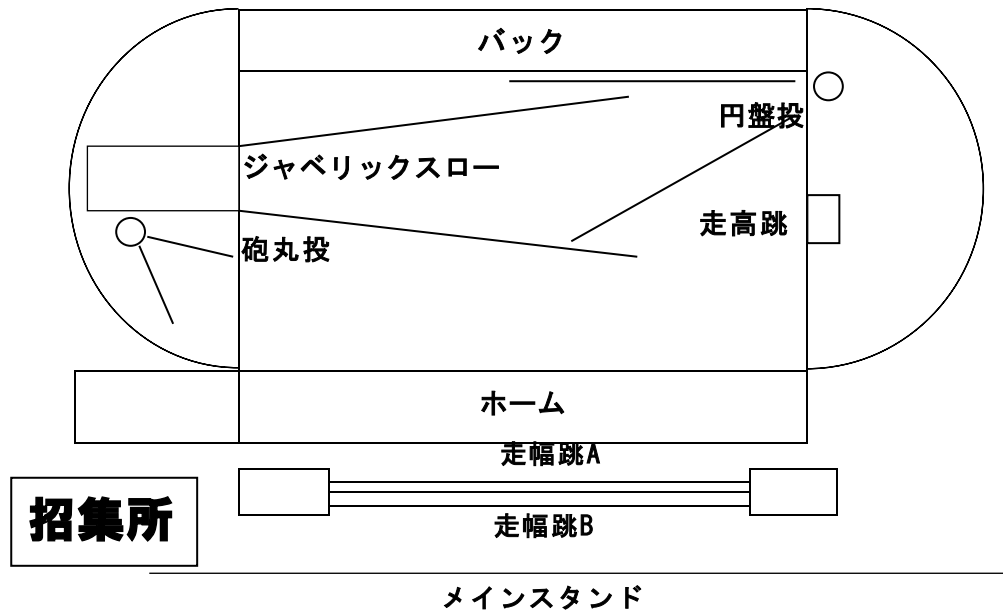
走幅跳	B男子	5m00	B女子	4m50
	C男子	4m50	C女子	4m00
砲丸投	A男子	11m00	A女子	8m00
	B男子	11m00	B女子	9m00
円盤投	男子	20m00	女子	15m00
ジャベリックスロー	男子	35m00	女子	25m00
走高跳	A男子	1m65-1m70-1m75-1m80-1m85 以降3cm		
	A女子	1m45-1m50-1m55-1m60 以降3cm		

8. 決勝進出 走高跳以外のフィールド種目は3回の試技でトップ8を決定し、さらに3回の試技を行う。
トラック種目はすべてタイムレース決勝とする。

9. 終了タイム

男子C	1500m	5分30秒0	女子C	800m	3分00秒0
男子B	1500m	5分00秒0	女子B	1500m	5分30秒0
男子A	3000m	10分30秒0	女子A	3000m	12分00秒0

10. その他
- ・スタート合図はイングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。
 - ・2019年度日本陸上競技連盟競技規則第162条5の適用はしない。不適切行為があった場合、注意を与える。
 - ・長距離種目において、天候等の状況に応じて給水を行う。
 - ・応援、付き添いはフィールド内や競技場内には入ってはならない。
(走幅跳ピット前の通路での応援も禁止)
 - ・スタート時の応援は禁止する。
 - ・応援席最前列の手すり付近での立っての応援は禁止する。
 - ・立ち入り禁止区域には入らない。(本部前通行等)
 - ・メインスタンドへの応援横幕・シート・テント・タープ・のぼり旗の設置を禁止する。
 - ・所持品は各自責任を持って管理すること。
 - ・ゴミは各自持ち帰ること。
 - ・中学生競技者としてのマナーを守ること。
- ※選考会終了後、出場確認と申し込みを行う。



J O選考会 三ツ沢競技場使用上の注意・お願い

I 開門時刻・場所取りについて

1. 競技場開門予定時刻は7:30で、レストハウス前のゲートを開門する。
2. 入場列整列待ち（前から横6列で並ぶよう御協力ください）、場所取りについては顧問・生徒一緒がルール。6時以前に並ぶことはできない。
（顧問と生徒が一緒でないと入場待ち列には並べない。）
【場所取り確認事項】
 - ① 開門時は役員の指示に従い整列順で入場し走らないこと。（転倒防止）
整列入場の際、後から来た選手生徒は途中から列に加わらず、最後尾にまわり整列し順番に入場すること。
 - ② 更衣室（レストハウス内）及びメインスタンドベンチ座席にシート・テントは設置できない。
 - ③ スタンドや芝生席も含めて各校、譲り合って利用すること。
 - ④ メインスタンド最上部スペースでのテント、シート設置も可能とする。通路の確保、水場、非常口扉等の利用の妨げにならない範囲とする。
テント（屋根）を使用する場合は風で飛ばされないようにする。（重りなどで固定すること）
ただし、通路をまたいで手すり等へのロープでの固定は転倒防止のため不可。
移動や撤収等が必要な場合、本部役員、会場地区担当の指示に従うこと。
 - ⑤ メインスタンド内（本部後方）の廊下及びレストハウス通路の場所取りは雨天時のみとし、出場選手のみ利用とする。（使用可能時はアナウンスをする。）
 - ⑥ 聖火台階段、第2コーナー付近階段はテント、シート設置禁止
 - ⑦ 公園内、競技場周辺は一般来園者の利用を最優先し、むやみにシートやテントを設置して通行の妨げやベンチ等を占有しての利用はしないこと。
 - ⑧ 競技場内の芝生席及びスタンド最上段以外は、野外活動施設前のキャンプファイヤー広場（石畳上など）にテントやシートの設置は禁止。
※園路に隣接する茂みなどにもシートは敷かない
※テント設置の際には飛ばされないように固定及び重りをつけるなどの対策を行うこと。
※移動や撤収等が必要な場合、本部役員、会場地区担当の指示に従うこと。

3. 車両は駐車場を利用し、路上駐車等はしない。

II ウォーミングアップや練習について

1. 競技場内では運営、準備等が最優先です。トラック内芝生は一切立ち入り禁止。
2. 大会出場選手以外の選手、生徒の練習は一切認めない。（場内外問わず）
3. 朝のトラックでのウォーミングアップ開始はアナウンスで指示をする。それまでは準備が優先。
ストレッチ・ウォーク等の練習はトラック外で行うこと。本部役員や県専門委員を中心に監察するが審判のない顧問は事故や怪我がないよう安全についての事前指導と練習に立ち会うようにすること。
以下、次の通り行う。

【ホームストレート側】

- 1～2レーン ジョッグ・長距離等周回を使う練習
- 3～4レーン 短距離練習 コーナーから直線を使う練習（4コーナー）
- 5～6レーン 女子100mH練習（5台）直線を使う練習
- 7～8レーン 男子110mH練習（5台）直線を使う練習

【バックストレート側】

- 1～2レーン ジョッグ・長距離等周回を使う練習
- 3～5レーン 短距離練習 コーナーから直線を使う練習（2～3コーナー）
- 6～8レーン 短距離スタート練習 直線を使う練習

4. 競技会中のトラック開放はアナウンスで時間、場所を指定する。それ以外の練習については補助競技場（サブトラック）を使用する。
5. サブトラックでの練習は次の通りに行う。（7：45～練習場係が付いた後）
 - ① 1～4レーン 長距離等周回を使う練習（トラックは4レーンまでしかない）
 - ② 直走路5～8レーン 短距離走のみ（スタート練習は行わない）
 - ③ メディシングボールでのウォーミングアップは、サブトラック内の決められた場所のみ使用可とする。
 - ④ サブトラックでは、備え付けられた用器具以外の練習用具の持ち込みを禁止します。ただし、バトン、ピストルは除きます。また、ミニハードルやラダー、メディシングボールを使用した練習は指定場所で係員の指示に従って行うことができる。（なお、サブトラックでのジャベリックスローや円盤・砲丸などの投擲練習は不可とし、本競技場での公式練習のみとする。そのため、ジャベリックや円盤・砲丸を会場に持ち込まない。）
6. 開門以降、三ツ沢公園内及びその周辺での練習については一般来園者の利用を最優先とし一切禁止とする。（競技場内か補助競技場のみということ）
7. 駐車場や避難経路等での練習は一切禁止とする。
※ニッパツ球技場前でのアップも禁止とする。（朝も含めて）

III 応援について

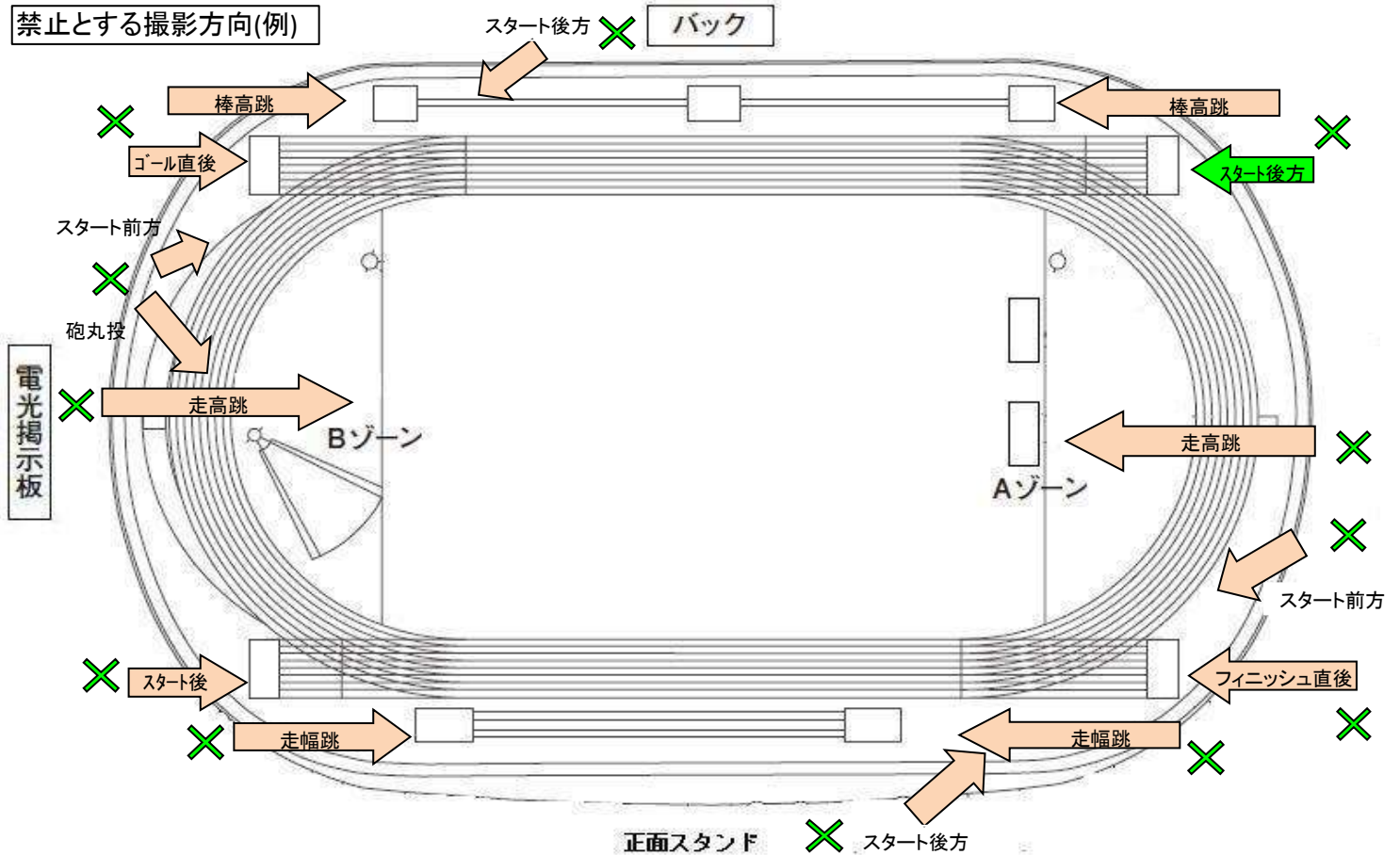
1. 原則としてスタンド、芝生席以外の応援は禁止。コーンで区切ってある場所はそこよりスタンド側を通路とし、通行の妨げにならないよう応援すること。
2. 応援についてはトラックのスタート時、各スタート付近（2次招集時含む）、フィールドの競技進行の妨げとならないよう注意すること。また、招集所付近での応援は禁止とする。
3. 付き添い生徒が競技場内（トラック・フィールド内や招集所、スタートやフィニッシュ地点）に入ることを禁ずる。
4. スタンド最前列で立ち上がっての応援はしないこと。

IV その他

1. ゴミは各校、各自で持ち帰ること。（近隣コンビニや施設のゴミ箱等に捨てない）
2. スパイクでスタンドやスタンド内通路に上がらないこと。
3. 本部前は選手、付添等、通行禁止とする。
4. レストハウス前の遊具で遊ばない。（乳幼児向けのため）
5. トイレ・更衣室等、公共施設の使用については、ルール・マナーを厳守すること。
6. 運営に協力するとともに本部役員や県専門委員、会場担当地区の指示には従うこと。

～撮影に関するお願い(一般来場者・中学校関係者のみなさま)～

禁止とする撮影方向(例)



◆選手の肖像権・人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください。

1. 競技者に迷惑のかかる恐れのある撮影を禁止します。撮影はすべて、スタンド上から行ってください。
2. 参加競技者の関係者(保護者を含む)の撮影については、写真撮影受付をし、許可証を身につけて関係者であることを分かるようにして下さい。許可証を身につけていても、以下の撮影行為はご遠慮下さい。
 - ・競技者の同意を得ない関係者外の撮影
 - ・競技に集中できないと競技者から苦情が来るような撮影
 - ・体の一部を拡大しての撮影
3. 盗撮・透過撮影行為防止のため、競技者に迷惑のかかる恐れのある全ての方向からの撮影・行動を禁止します。上記の図は、禁止とする撮影方向の一例です。
 - ・トラック種目のスタート時・フィニッシュ直後…前方・後方からの撮影
 - ・走高跳、走幅跳、棒高跳の助走後方・着地前方(砂場正面)からの撮影
 - ・走高跳マットに向かった正面(クリアランス動作中)からの撮影
 - ・砲丸投…競技者正面からの撮影
4. 選手がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っていたりしている間や、身体を動かしているなどの準備を行っている時の撮影を禁止します。
5. また他者に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。
6. 撮影の仕方が不自然な場合や、盗撮が疑われる場合には、競技役員が撮影内容の確認をさせていただきます。
7. 競技運営上、競技役員判断により、上記以外に撮影禁止エリアを設ける場合があります。
8. その他、上記の内容も含めて、競技運営上の都合により大会当日も含め変更する場合があります。その際は競技役員判断に従ってください。



ジュニアオリンピックの選手選考について

令和元年8月16日 確定版

1. 標準記録を突破した選手のいる種目を「標準記録突破種目（突破）」と呼び、標準記録を突破した選手がおらず、県代表の1名の選手を選考して参加資格を与える種目を「出場選手選考種目（選考）」と呼ぶこととします。
2. 標準記録突破種目については、選考会で1位になっても本大会に出場することはできません。新たに標準記録を突破しないと本大会には出場できません。
3. 出場選手選考種目については次の通りとします。
 - (1) 全中出場者のいる種目は、ジュニアオリンピック選考会にエントリーした選手の中から、今年度4月1日～8月25日までの公認記録から選手を選考することとします。
 - (2) 全中出場者のいない種目は、ジュニアオリンピック選考会で1位になった選手を選考することとします。
 - (3) 全中で実施していない種目（女子3000m・男女円盤投・男女ジャベリックスロー）については、ジュニアオリンピック選考会で1位になった選手を選考することとします。
4. 昨年度より申込区分に大きな変更があり、早生まれの選手の標準記録突破を正確に把握することが困難になっています。
すべての種目において、標準記録を突破し、ジュニアオリンピック本大会に出場の意思がある選手につきましては、ジュニアオリンピック選考会当日（8/25）の9時までに強化委員長の林か副委員長の加藤まで申し出てください。
5. 申込はJAAF-STARTによるWEBエントリーになりました。
間違いのないよう、よく確認してから入力してください。

6. 標準記録突破種目の選手のエントリーは、8/14（水）から 9/9（月）までに行ってください。
「標準突破」を選択してください。
7. 出場選手選考種目の選手のエントリーは、標準記録有効期限の 9/1（日）までに標準記録を突破する可能性がある場合は 9/1（日）以降 9/9（月）までに、可能性がない場合は 8/26（日）～9/9（月）までに行ってください。
「県 1 名枠」を選択してください。
選考会後の公認大会で標準記録を突破した際は、至急強化委員長の林まで連絡をお願いします。エントリーは「標準突破」を選択してください。
8. 8月26日（選考会当日）の16：30頃（ジャベリックスローが終了後）本部ダッグアウトで、本大会の説明会を予定しています。
選考された選手の顧問の先生方は必ず出席してください。
標準記録を突破していて選考会に出場しない選手の顧問も、説明会には必ず出席をお願いします。
9. 2種目で本大会の参加資格を取得している選手（標準記録突破・選考会1位）につきましては、本大会はどちらの種目にエントリーするのかを、2種目目の競技終了後、ただちに強化委員長の林まで報告願います。
10. 選考会で2種目エントリー可能な種目（A 短距離ハードル種目・投てき種目）につきましては、選考会で1位ではなくても本大会に選考されることがあります。
11. 4×100mRの代表につきましては、各カテゴリー（A・B・C）から2名ずつ選考します。（リレーのみの選考の場合もあります）
出場料は県本部で負担します。
12. 選考会後に新規突破者が出た場合は、すぐに強化委員長の林まで連絡ください。9月1日（日）まで新規突破が認められます。（公認の地区総体等）
13. 出場選手選考種目で選考会後に標準記録の新規突破者が出た場合、選考会で参加資格を取得した選手（1位になった選手）が標準記録を突破しない限り、本大会に出場することはできません。